

「第1回日露大学協会総会」及び「日露学生フォーラム」を開催 名誉教授称号授与式の挙行





林文部科学大臣が本学を視察



第15回「キャンパス・クリーン・デー」

■ 全学ニュース

- 1 「第1回日露大学協会総会」及び「日露学生フォーラム」を開催
- 2 林 芳文部科学大臣が本学を視察
- 3 名和総長が日中大学フェア&フォーラムに出席
- 4 名誉教授称号授与式の挙行政
- 4 北海道大学アンバサダー（フィンランド）委嘱状交付式を開催
- 5 北大フロンティア基金
- 7 札幌キャンパスで第15回「キャンパス・クリーン・デー」を実施
- 7 春のガレージセールを開催
- 8 平成30年度新渡戸カレッジ入校式を挙行政
- 9 平成30年度新渡戸スクール入校式を挙行政
- 10 平成30年度CoSTEP開講式を開催
- 11 高等教育研修センターにて研修会を開催
- 12 「米国外交官に学ぶ異文化コミュニケーションセミナー」を開催

■ 部局ニュース

- 13 「ロバスト国際農林水産工学キックオフフォーラム」を開催
- 14 北極域研究センターがロシア北方（北極）連邦大学と部局間交流協定を締結
- 15 獣医学研究院動物実験施設竣工記念式典を挙行政
- 15 獣医学院とエジンバラ大学獣医学部がコチュテル・プログラムの覚書を締結
- 16 獣医学部で「地方自治体等合同就職説明会」を開催
- 16 平成30年度理学院優秀研究奨励賞授与式を挙行政
- 17 函館キャンパスで「春のキャンパス一斉清掃」を実施
- 17 メディア・コミュニケーション研究院でバイリンガル言語獲得に関する講演会を開催

- 18 環境科学院で「留学生のキャリア支援セミナー」・「FD研修会」を開催
- 18 植物園で夏期開園開始
- 19 大学文書館で1970～1980年代学生関係資料を受贈
- 20 看護週間－「看護の日のタベ」ほか様々な催しを実施
- 21 北海道日本ハムファイターズがひまわり分校の子どもたちと交流

■ お知らせ

- 22 加藤紘之名誉教授が平成30年春の叙勲で瑞宝中綬章を受章
- 23 「セイコーマート北海道大学店」の開店について
- 23 「緑のビアガーデン」を開催
- 23 「緑のジンギスカン&ワイン&ビア」を開催

■ 諸会議の開催状況 24

■ 学内規程 24

■ 表敬訪問 25

■ 人事 25

■ 訃報

- 26 名誉教授 山岸 俊男 氏

■ 資料

- 27 在籍学生数（平成30年5月1日現在）
- 29 平成30年度外国人留学生数（平成30年5月1日現在）
- 30 平成30年度国別外国人留学生数（平成30年5月1日現在）
- 31 平成29年度卒業・修了者の就職等状況一覧



平成30年度CoSTEP開講式



北極域研究センターがロシア北方（北極）連邦大学と部局間交流協定を締結



植物園で夏期開園開始



北海道日本ハムファイターズがひまわり分校の子どもたちと交流

表紙：「第1回日露大学協会総会」及び「日露学生フォーラム」を開催（関連記事1頁に掲載）

裏表紙：北の鉄道風景③ 北海道新幹線

■ 全学ニュース

「第1回日露大学協会総会」及び「日露学生フォーラム」を開催



総会参加者による集合写真

5月19日(土)・20日(日)の両日、本学学術交流会館及び京王プラザホテル札幌を会場として、第1回日露大学協会総会(第7回日露学長会議)を開催しました。

総会には、日露大学協会加盟校である日本側21大学、ロシア側11大学の学長や副学長等をはじめ、日露の大学間交流に関心の高い大学や協賛企業なども集まり、約200名近くが参加しました。

日露大学協会は、日露両国の大学間の交流推進を目的として2009年にスタートした日露学長会議がその前身で、2016年12月の日露首脳会談の際に、両国の高等教育機関の代表の署名により、大学間交流強化のための「日露大学協会」設立についての了解覚書が締結されました。これにより、今回の第1回日露大学協会総会の開催に至りました。

19日(土)の開会式は、総会主催校として共同議長である名和豊春総長の挨拶から始まり、続いて、来賓である林 芳正文部科学大臣、堀井 学外務大臣政務官、高橋はるみ北海道知事、ファブリーチニコフ・アンドレイ在札幌ロシア連邦総領事からの挨拶がありました。引き続き、総会のテーマである「日露経済協力・人的交流に資する人材育成の推進」について、日露高等教育機関間の人的交流の拡充及び日露経済協力を資する専門家の育成に関し、本学の研究者が講演を行いました。

20日(日)には、ロシア側を代表しモスクワ大学のヴィクトル・アントノヴィッチ・サドーフニチ学長から、日露学長会議とロシア学長連盟の歴史について、また、日本側を代表し東海大学の山田清志学長から、東海大学とロシアの大学との学術交流の強化について、それぞれ基調講演が行われました。その後、会場を分け、人材交流、医療健康、地域開発の3つをサブテーマとした分科会に加え、人文社会フォーラムを行いました。各分科会等では、これまでの各大学における実績や交流計画が紹介され、今後の大学間交流の更なる推進に向けた活発な議論が行われました。名和総長とサドーフニチ学長は、日露の大学間交流の新しい時代の幕開けという認識で一致し、「今後は、両大学で協働し日露の大学間交流を先導していく」ことを約束しました。

総会の最後には、分科会における議論や日露学生フォーラムの話し合いの成果を基に共同宣言が行われ、「人材交流委員会」「学生連盟」「専門セク



共同宣言を交換し握手を交わす名和総長とサドーフニチ・モスクワ大学学長

ション運営委員会及び専門セッション」を設立すること、若手研究者をはじめとする学術交流を進め、異分野融合や産学連携を進めること、そして次回(第2回日露大学協会総会(第8回日露学長会議))は2019年にモスクワ大学のホストで開催されることが確認され、名和総長とサドーフニチ学長が署名しました。

18日(金)・19日(土)には、第1回日露大学協会総会の開催にあわせ、両国の学生同士が直接交流することによる相互理解と友好関係の構築を図るため、日露学生フォーラムを本学学術交流会館で開催しました。フォーラムには、日露合わせて34名の学生が参加し、意欲的かつ長時間に渡り、日露の交流推進について討論しました。19日(土)の日露大学協会総会の中で、日露の学生代表が、林文部科学大臣や在札幌ロシア連邦総領事館コレスニク・ロマン領事、総会参加の各大学の学長等に、議論の成果を発表しました。学生達からは、日露交流促進・課題解決のために「学生連盟の設立」が提案され、林大臣及びコレスニク領事から賛同と高い評価を得ていました。

さらに、19日(土)には、日露大学協会のロシア側の代表校であるモスクワ大学のサドーフニチ学長に対し、これまでの本学との交流実績に加え、両国の人材・学術の交流、そして日露大学協会設立への尽力と総会実施等への功績から、「北海道大学名誉博士」の学位を授与しました。

(国際部国際連携課)



日露学生フォーラム学生代表と懇談する林文部科学大臣と名和総長

林 芳正文部科学大臣が本学を視察

5月19日（土）、「第1回日露大学協会総会」及び「日露学生フォーラム」の開催に伴い、林 芳正文部科学大臣が本学を訪れ、北海道大学病院陽子線治療センターを視察されました。

陽子線治療センターは患者さんが温もりを感じられるよう内装に木材をふんだんに使用した地上4階建ての建物であり平成26年3月に竣工しました。

当該施設には、本学が開発した世界初の技術である「動体追跡放射線治療技術」と株式会社日立製作所が世界で初めて臨床に応用した「スポットスキヤニング型陽子線照射技術」を融合させ、今までは位置、大きさなどから治療が困難であったがんに対しても生体へのダメージを最小限に抑えた治療を行うことが可能である「分子追跡陽子線治療装置」が設置されています。

林大臣は名和豊春総長らの挨拶を受けた後、陽子線治療センター副センター長である工学研究院梅垣菊男教授及び医学研究院橋本孝之特任准教授から、陽子線治療センターの全体模型を用いて施設の概要説明を受けられました。その後は実際に装置が設置されている加速器室内で、陽子線の特徴やスポットスキヤニングに特化したことで、装置全体の小型化が実現し、当該施設への設置が可能になったこと、また治療室内では、肺や肝臓といった呼吸等によって大きく動くがんに対する

動体追跡陽子線治療や成長障害・二次発がん等の晩期有害事象リスク軽減のメリットが大きいと考えられている小児がんに対する治療方法などの説明を受けられました。また、陽子線治療センターを拠点に設置されているGI-CoRE（国際連携研究教育局）における海外連携研究、新規設立の医理工学院の学際教育についても、活動状況の説明を熱心に聞いていただきました。

続いて、林大臣は小松親次郎文部科学審議官等関係者とともに京王プラザホテルへ移動し、本学関係者との昼食

会に出席されました。名和総長からは林大臣に対して、本学が果たすべき使命である「世界トップ100を目指す研究・教育拠点の構築」や「北海道型のフードバレー構想」などについて説明を行い、活発な議論が展開されました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、本学の教育・研究を推進していくための議論が深まった一日となりました。

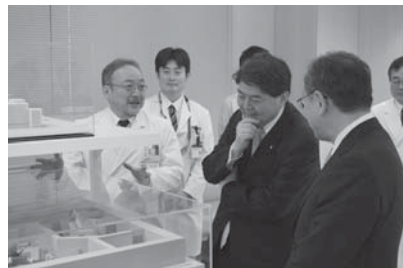
（総務企画部総務課）



握手を交わす林大臣と名和総長



懇談する林大臣と本学関係者



陽子線治療センターについて説明を受ける林大臣



林大臣及び小松文科審等文科省関係者との昼食会

名和総長が日中大学フェア&フォーラムに出席

5月10日（木）から14日（月）、名和豊春総長、王秀峰総長補佐らが中国華南地域を訪問しました。5月12日から14日にかけて中国広東省広州市において開催された日中大学フェア&フォーラムへの出席を目的としたもので、この機会を活用し、廈門市と広州市に所在する学術機関を訪問しました。

10日には、廈門市に位置する華北設計研究総院を訪問した後、廈門大学の張栄学長と今後の学術交流について議論を行いました。11日には、廈門大学キャンパスを訪問し教員との意見交換を行ったほか、研究施設を視察しました。同日午後には、廈門市人民政府を訪問し、張毅恭副市長と本学が持つ技術の応用や特許の活用について意見交換を行い、有意義な場となりました。

た。

12日には広州に移動し、広州在住の本学卒業生との意見交換を行い、卒業生とのネットワーク強化の貴重な機会となりました。同日午後からは日中大学フェア&フォーラムに出席しました。本学との連携及び交流を希望する中国の7つの大学と、今後の交流の可能性について個別会談を行ったほか、フォーラム会場に設置された大学のPRブースを活用し、参加者へ本学の特徴についてアピールする絶好の機会となりました。本学卒業生による充実した広報活動のおかげで、北大ブースには常に人だかりができました。13日には、2つのテーマに沿った分科会が行われ、名和総長はその内の1つ「オンリーワンを目指す大学の経営理念について」の座長を務め

ました。各大学のプレゼンを受けて、グローバルゼーションの中でどのようにオンリーワンを実現していくべきかという問題提起を行い、活発な議論の場となりました。分科会後には、歴史的博物館である陳氏書院を視察しました。

14日には、大学城をはじめとする広州の学術施設を視察したほか、元広州大学学長、現広州航海学院の鄒采榮学長と意見交換を行い、本学の農学研究院及び地球環境科学研究院との間ですでに進んでいる学術交流を、一層推進することを確認しました。

今回の訪問を契機に、今後の両国高等教育機関の友好関係がますます強まることが期待されます。

（国際部国際連携課）



廈門大学張学長（右）と名和総長



個別会談の様子



北大ブースで広報活動を行う本学卒業生

名誉教授称号授与式の挙行



名誉教授称号授与式出席者一同

先に本学名誉教授に決定された方々（11名）に対する称号授与式を6月6日（水）に学術交流会館小講堂において執り行いました。

当日出席された5名の名誉教授一人ひとりに、名和豊春総長が称号を授与

した後、永年にわたるご尽力に感謝の言葉が述べられました。閉式後は記念撮影が行われました。

また、引き続きファカルティハウス「エンレイソウ」レストランエルムにおいて、この度称号を授与された名誉

教授と道内在住の名誉教授、役員、副学長、部局長との懇談の場として企画された名誉教授懇談会が医学研究院を幹事として行われました。

懇談会には、名誉教授、役員、副学長、部局長を合わせて38名が出席され、吉岡充弘医学研究院長の開式の辞に始まり、名和総長の挨拶と乾杯、担当理事による大学の状況報告、新旧の名誉教授のスピーチがあった後、「都ぞ弥生」斉唱、関 靖直理事・事務局長の一本締めへと続き、吉岡医学研究院長の閉式の辞で盛会のうちに懇談会を終えました。

（総務企画部人事課厚生労務室、
医学院・医学研究院・医学部）

北海道大学アンバサダー（フィンランド）委嘱状交付式を開催

6月6日（水）、本学において、フィンランド北海道大学アンバサダー、オウティ・スネルマン氏に対して、北海道大学アンバサダー委嘱状の交付を行いました。

スネルマン氏はラップランド大学（2011年6月大学間協定締結）の国際部部長として、また、同大に事務局を置く北極圏大学（UArctic）の副会長・事務局長として、これまでにジョイントシンポジウムの開催やファーストステッププログラムの受け入れ等にご協力いただけてきました。

今回の委嘱を機に、北極域研究セン

ターを軸にした本学の北極域研究・教育の国際的な拠点としての更なる発展が見込まれます。さらに、ラップランド大学をはじめとした200余りの北極圏大学加盟大学と本学とのラーニング

サテライトやサマー・インスティテュート等を通じた教育・研究交流活動の推進が、ますます期待されます。

（総務企画部広報課）



オウティ・スネルマン氏（左）と笠原理事・副学長



北極域研究センター等関係者との記念撮影

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

募金目標額は50億円です。奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動することとしています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報
基金累計額（5月31日現在）

22,305件 4,459,562,769円

5月のご寄附状況

法人等12社、個人178名の方々から17,900,000円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいている方々のご芳名、銘板の掲示、感謝状の贈呈について掲載させていただきます。（五十音別・敬称略）

寄附者ご芳名（法人等）

M S D株式会社、小樽市病院局、医療法人社団かわなみ耳鼻咽喉科、学校法人京都外国語大学、市立千歳市民病院、一般財団法人大地みらい基金、大地みらい信用金庫、名寄市立総合病院、ニチアス株式会社、房川・平尾法律事務所、北大医学部41期会

寄附者ご芳名（個人）

合川 正幸	青柳 幾子	朝倉 利光	天野英太郎	荒木 利和	飯島 明伸	飯塚 礼子	池田 清治
池谷 和昭	石塚 宗司	石本 恵生	板本 孝治	井上 賢治	井上 浩之	入澤 秀次	岩崎 克巳
岩下 通弘	岩本 理恵	隠田 知則	内林 克行	采 孟	大城 純市	緒方 清一	小川 義行
奥野 和弘	小内 透	小野塚憲仁	小原 大和	改正 知子	加賀 幸彦	葛西 崇	金川 眞行
金田 裕道	鎌田 満広	神谷 強	川端 環	川端 真	河本 充司	岸本 政則	北川まゆみ
北村 彰浩	木村 育子	木村 幸文	工藤 寛	倉内 宣明	小板橋泰文	小林 清一	小松 知己
古室あづさ	小山 裕	近藤 裕之	斉藤 久	坂岡 博	坂本 大介	佐々木秀直	佐藤 和彦
佐藤 孝一	佐藤 照明	佐藤 正壽	三升畑元基	篠田 好彦	渋谷真希子	蛇沼 俊二	新富 芳尚
杉田 弘也	鈴木 研太	鈴木 正司	鈴木 裕一	瀬名波栄潤	多賀 信彦	高木 康里	鷹田 善嗣
高田 佳幸	高室 暁	詫間 滋	竹内 寛幸	武田 和也	竹藪 公洋	田中 宏招	田中 啓之
辻 宜勝	土屋 和子	土家 琢磨	都築 道夫	寺澤 睦	土居 英俊	富井 良己	豊田 威信
永島 雅文	永松 昌一	西尾 妙織	野中 淳	長谷 潮	長谷 由理	長谷川 晃	林 幸一
平松 靖史	平山 恵美	平山 光久	藤澤 俊明	藤野 陽三	保坂 実	星野 孝文	堀田記世彦
本間 昭一	前田 知道	前田 誠	町田 宗正	松村 智巳	松村 吉浩	松本 隆児	三上 一成
三島 俊彦	宮城島拓人	宮野 悟	宮部 幸一	村上 伸広	村上 靖	森本 秀平	薬師ゆかり
山 公美子	山木 紀子	山岸 善吾	山口 良文	湯川 康史	横田 圭司	横田 浩	吉田 広志
米澤 洋介	米田 健史	鷲尾 一樹	渡邊伸一郎				

銘板の掲示（20万円以上のご寄附）

（法人等）

M S D株式会社、小樽市病院局、市立千歳市民病院、名寄市立総合病院、ニチアス株式会社、北大医学部41期会

(個人)

朝倉 利光, 采 孟, 川端 真, 工藤 寛, 佐々木秀直, 新富 芳尚, 鈴木 正司, 西尾 妙織, 長谷川 晃,
平松 靖史, 藤澤 俊明, 堀田記世彦, 湯川 康史, 米澤 洋介

感謝状の贈呈



株式会社竹山 様 (平成30年5月9日)



栄研化学株式会社 様 (平成30年5月10日)



アズビル株式会社 様 (平成30年5月11日)



一般財団法人協済会 様 (平成30年5月15日)



アステラス製薬株式会社 様
(平成30年5月24日)

ご寄附のお申し込み方法

北大フロンティア基金ホームページの「教職員の方によるご寄附について」にアクセスして下さい。

<https://www.hokudai.ac.jp/fund/howto-staff.html>

①給与からの引き落とし

ホームページから「北大フロンティア基金申込書 (兼・給与口座からの引落依頼書)」をダウンロードし、ご記入の上、基金事務室に提出してください。

②郵便局または銀行への振り込み

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお送りします。

③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、基金事務室にご持参ください。

申込書は、ホームページから「北大フロンティア基金申込書 (教職員現金用)」をダウンロードしてご記入いただくか、基金事務室にもご用意していますので、基金事務室にお越しいただいてからご記入いただくことも可能です。

④クレジットカード決済・コンビニ決済でのご寄附

北大フロンティア基金ホームページ

(<https://www.hokudai.ac.jp/cgi-bin/fund/bin/xRegist.cgi>) の寄附申し込みフォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室 (北海道大学 百年記念会館内・学内電話 2017)

(総務企画部広報課)

札幌キャンパスで第15回「キャンパス・クリーン・デー」を実施

全学一斉の構内清掃作業として、札幌キャンパスでは5月7日（月）に第15回「キャンパス・クリーン・デー」を実施しました。

当日は晴天に恵まれ、学生・教職員等約4,200名の参加がありました。百年記念会館の前では名和豊春総長から挨拶

があり、続いての「ガンバロー！」コールで清掃作業を開始しました。

今年で15回目を迎えたキャンパス・クリーン・デーは、札幌キャンパス内では一大行事として認知されており、今後も継続して行う予定です。キャンパス美化活動を推進し、綺麗なキャン

パスを目指すためにも、これからも多くの方々にご協力をいただきますようお願いいたします。

（施設部環境配慮促進課）



名和総長から挨拶



図書館周辺のごみ拾いをする教職員



清掃作業を行う名和総長

春のガレージセールを開催

4月24日（火）、国際連携機構ロビー及び学生生活動室において、春のガレージセールを開催しました。これは、本学の教職員の妻と女性教職員で構成されている北海道大学国際婦人交流会が春と秋の年2回行っているもので、留学生と外国人研究者に対して日

常生活に必要な物資を提供しているものです。

当日は天気も良く、来場者は開場とともに炊飯器、アイロンといった小型家電や、食器や調理器具など日用品のコーナーに詰めかけていました。来場者数は約200名でした。多くの留学生

が手に大きな荷物を抱え、多くの賑わいを見せていました。

毎年4月と10月の開催前には学内に向けて物品提供依頼をしています。皆様のご協力をお願いいたします。

（国際部国際教務課）



にぎわう会場（ロビー）の様子



天気に恵まれた会場



思い思いの品を手にする留学生たちの姿

平成30年度新渡戸カレッジ入校式を挙行

5月12日（土）、高等教育推進機構大講堂にて、平成30年度の新渡戸カレッジ入校式を行いました。

新入校生（1年生169名、2年生44名）が第6期カレッジ生として仲間入りし、在校生381名とともに新しい新渡戸カレッジがスタートしました。入校式には、長谷川晃新渡戸カレッジ校長代理（理事・副学長）、石山 喬副校長（北海道大学校友会エルム会長）、山口淳二副校長（副学長）をはじめ、理事・学部長等が出席するとともに、様々な分野で活躍されているフェロー31名が駆けつけました。

最初に、長谷川校長代理から挨拶があり、新渡戸カレッジ誕生の背景や特色及び新渡戸稲造の功績について説明がありました。特に新渡戸稲造が新渡戸カレッジ生と同年代の時に「我、太平洋の架け橋たらん」としてアメリカに渡ったことを引用して、「皆さんも先輩フェローの協力を得ながら、若いうちから力を高めてほしい」とのメッセージを伝えました。

次に、石山副校長からの挨拶があり、「新渡戸カレッジで学ぶことは大変ハードであるが修了後には得られるものが多く、また、それらは価値のあるものばかりである。それをサポートしてくれるのが経験豊かなフェローである。特に新渡戸カレッジ行事の中に対話プログラムというのがあり、フェローに色々なことを相談出来る機会なので、ぜひ利用してほしい。そして、フェローから様々な話を引き出して、自分の糧にしてもらいたい。また、在学中は勉強だけでなく、スポーツや芸術、アルバイト、或いは恋愛など様々

なことに関心を持ってほしい。それが世界に通用する強力なマネジメント能力を持った人間になることに繋がる」とのメッセージがありました。

引き続き、全フェローの紹介の後、1・2年生のグループを担当するフェローを代表して長沼昭夫フェローに祝辞をいただきました。長沼フェローは祝辞の中で、次の二点について述べられました。一つは、「夢を持つこと。小さくてもいいので、色々な夢を持ち、その夢は成長とともに変わるので、将来にわたって、日々成長していけるようになる」二つ目は、「新渡戸カレッジで一生の友を見つけること。その友と夢を語りあったり、刺激しあったりして、夢を育てて行けるような関係であってほしい。そうすることで、新渡戸カレッジから明日の新渡戸稲造が育っていくことを期待する」と

激励されました。

その後、大学役員、学部長の紹介があり、修了生による祝辞として大学院水産科学院1年の一期生、田仲真実さんから挨拶があり、続いて、在校生の祝辞として水産学部4年の坪井里奈さん、新入生を代表して総合理系1年の小畑夏音さんから挨拶がありました。

最後に、様々なプログラムに積極的に取り組み、活躍したカレッジ生5名に、石山副校長より「新渡戸カレッジ奨励賞」が授与されました。

入校式は、たくさんの方々のお祝いや熱いメッセージにあふれ、入校を祝福する温かな雰囲気のもと、新たな新渡戸カレッジ生にとって、決意と自覚を深める時間となりました。

（学務部教育推進課）



長谷川校長代理による挨拶



石山副校長による挨拶



長沼フェローによる祝辞



新渡戸カレッジ奨励賞受賞者

平成30年度新渡戸スクール入校式を挙行

大学院特別教育プログラム新渡戸スクールの入校式を、5月12日（土）に高等教育推進機構S1講義室において開催しました。

本年度は、新渡戸スクール基礎プログラムの4期生及び上級プログラムの2期生が新渡戸スクールに入校しました。いずれも厳正な選考の結果、基礎プログラムは17学院等に所属する150名の入校希望者から134名を選抜し、上級プログラムは入校希望のあった14学院等に所属する24名に対し入校を許可しました。

入校式には、長谷川晃新渡戸スクール校長代理（理事・副学長）、石山喬北海道大学校友会エルク会長をはじめ、理事、学院長等が出席するとともに、基礎プログラム及び上級プログラム入校生が出席しました。

入校式では、始めに長谷川校長代理から、「新入校生の新渡戸スクールにおける学びが有意義なものとなること」さらに、「新渡戸スクールにおける経験をもとに、本学と世界をつなぐネットワークのハブとなり、国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材となることを願う」との挨拶がありました。

ました。

続いて、修了生代表挨拶として、基礎プログラム3期修了生の前田美紅さん、及び上級プログラム1期修了生のポウデル・クリティカさんが各プログラムにおける経験や成果について英語でプレゼンテーションを行いました。

最後に、基礎プログラム修了後、上

級プログラムに進学した脇田大輝さんが入校生代表として挨拶し、新渡戸スクール入校生に対するメッセージ及び今後の上級プログラム履修における抱負を述べました。

（学務部教育推進課）



長谷川校長代理挨拶



基礎プログラム修了生代表挨拶



上級プログラム修了生代表挨拶



入校生代表挨拶

平成30年度CoSTEP開講式を開催

5月12日（土）、工学部フロンティア応用科学研究棟レクチャーホール（鈴木章ホール）にて、平成30年度CoSTEP（科学技術コミュニケーター養成ユニット）開講式を、執り行いました。

今年度は本科33名、選科42名、研修科10名、合計85名が受講生となりました。開講式の冒頭、村井 貴特任助教が初音ミクの声でパフォーマンスを行った後、川本思心CoSTEP部門長（理学研究院准教授）からCoSTEPの実践的な科学技術コミュニケーション活動の紹介があり、続いて長谷川晃理事・副学長から開講の挨拶がありました。

その後、初音ミクの開発元として知られるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社代表取締役の伊藤博之氏による開講特別プログラム「メタクリエイターの発想法」がはじまりました。伊藤氏はクリエイターのためのク

リエイターをメタクリエイターと呼び、その立場で“場”をデザインすることで初音ミクを生み出しました。近年は札幌市を先端テクノロジーの「社会実験・社会実装の聖地」にすることをめざすクリエイティブコンベンション「No Maps」に注力しています。

CoSTEPでは翌年3月までのカリキュラムの中で、科学技術コミュニケーターを養成しています。科学技術コミュニケーターとは、科学技術の専門家と市民との間を橋渡しする人のこ

とをいいます。しかし、橋渡しだけに留まらず、一緒に活動してくれる仲間を増やせる場をデザインできると、科学技術コミュニケーションの世界はこれまで以上に広がります。伊藤氏はそのヒントを受講生に示しました。

開講式の最後の挨拶では、松王政浩オープンエデュケーションセンター長（理学研究院教授）が激励の言葉を受講生に贈りました。

（高等教育推進機構）



平成30年度CoSTEP開講式



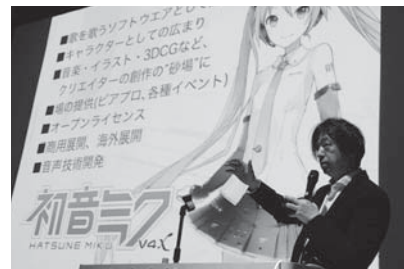
川本CoSTEP部門長



長谷川理事・副学長



伊藤氏による特別プログラム



初音ミクについて語る伊藤氏



松王オープンエデュケーションセンター長



初音ミクの声でパフォーマンスを行う、村井特任助教



伊藤氏と記念写真

高等教育研修センターにて研修会を開催

高等教育推進機構高等教育研修センターでは、4・5月に以下のとおり研修会等を開催しました。

(高等教育推進機構)

平成30年度全学教育科目に係るTA研修会 参加者：349名

開催日：4月3日(火)

開催場所：高等教育推進機構大講堂等

開催概要：全学教育科目を担当する新任TAを対象に、その心構えや役割の理解を深めることを目的として開催した。

先輩TAや他の新任TAと交流しながら、実際の担当授業に向けて、具体的な心構え及び役割を学んだ。



ELMS講習会～授業でELMSを活用する～【入門編】 参加者：計34名

開催日：①4月26日(木) ②5月18日(金)

参加者：①24名 ②10名

開催場所：高等教育推進機構E212教室

研修概要：教育情報システム(ELMS)は、授業などの様々な場面において活用することができる。本講習会はELMSの使用に慣れていない教職員を対象としてELMSの操作方法やMoodleを含めた活用事例等を学ぶことで、ELMSを有効活用してもらうことを目的として開催した。



講演会「キャンパスにおけるハラスメントをとらえる視点と予防の重要性」 (学生に対するハラスメント編) 参加者：35名

開催日：5月9日(水)

開催場所：情報教育館3階スタジオ型研修室

開催概要：教職員から学生へのパワハラ・セクハラ・アカハラに加え、教職員間のハラスメント問題が全国の大学で報告されている。本講演会はハラスメントについて正しく理解し、ハラスメント予防の重要性や教育関係者に求められる意識や心構えについて学ぶことを目的として開催した。



第35回北海道大学教育ワークショップ 参加者：21名

開催日：5月25日(金)～26日(土)

開催場所：北広島クラッセホテル

研修概要：採用されてから5年未満の教員を対象に、授業を構成するために必要な教育の基礎を理解すること、アクティブラーニング型授業を設計する方法を理解しシラバスを作成できること、志を同じくする同志と教育について話し刺激し合うことを目的として開催した。



講演会「アクティブラーニングの正しい理解」 参加者：43名

開催日：5月30日(水)

開催場所：情報教育館3階スタジオ型研修室

開催概要：アクティブラーニング型授業とは、実際にどのような授業であるのか、アクティブラーニングに慣れていない方を対象として、アクティブラーニング型授業の基本を学ぶことを目的として開催した。



「米国外交官に学ぶ異文化コミュニケーションセミナー」を開催

人材育成本部国際人材育成プログラムI-HoPでは、博士課程外国人留学生や外国人ポスドク研究者向けにキャリア開発支援を行っています。国際的な研究やグローバルキャリアを進めていく上で、言葉や文化的な背景の異なる人々と協力する場面は今後ますます増えていきます。その際に欠く事の出来ない「異文化コミュニケーション」に係る知識を身につけることを目的として、5月30日（水）にセミナーを実施しました。

「米国外交官に学ぶ異文化コミュニケーションセミナー」と銘打ったこのセミナーは、現職の在札幌米国総領事館のハービー・ビーズリー領事、ジャスティン・トール領事の2名を講師にお招きし、附属図書館のメディアコート会場に、非常にオープンな雰囲気の中で全て英語により実施しました。各領事のこれまでの職歴や外交官としての経験を振り返る講演に続き、後半は総長補佐で新渡戸カレッジ担当のミシェル・ラフェイ文学研究科准教授の司会により、パネルディスカッション形式で、(1)文化の異なる相手の情報を収集し理解を深めるには、(2)異なる文化的背景を持つチームメンバーを集めて共通の目的を持たせるには、の二つをテーマに会場の参加者を

交えた議論を行いました。

本セミナーは附属図書館のほか、新渡戸カレッジ、新渡戸スクールとの共催として実施した結果、新渡戸生26名を含む53名の参加があり、当日会場で実施したアンケートでも、8割近くの参加者が満足したとの回答を寄せてくれました。会場での質疑応答では、留学生だけでなく、日本人教員からも英語による質問が寄せられ、現役外交官の生の声を聴ける貴重な機会を多くの

参加者が活用してくれました。

人材育成本部では、「博士人材キャリア構築支援プラットフォームのグローバル化」を目的として、日本人と外国人研究者と一緒に移転可能研究力の強化を行えるプログラムを企画しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp>

(人材育成本部)



講師と聴衆の距離の近さが魅力



メモを取りながら熱心に質疑応答



ビーズリー領事



トール領事

■ 部局ニュース

「ロバスト国際農林水産工学キックオフフォーラム」を開催

6月1日（金）、学術交流会館大講堂において、「ロバスト国際農林水産工学キックオフフォーラム」を開催しました。

これは、名和豊春総長が農学研究院と工学研究院の連携を軸に、本学の戦略のひとつである「持続可能社会の実現に向けた世界トップレベルの研究推進・社会実践」を実現するため、「ロバスト（外的影響からの強靱性）農林水産工学国際連携研究教育拠点構想」を提唱したことから始まり、今年度、工学研究院を中心部局として、「ロバスト農林水産工学科学技術先導研究会」を正式にスタートさせたことを学内外に知らせることを目的としています。産学連携の現状と将来について議論するため、本フォーラムではオランダから専門家を招へいし、北海道内の研究機関や農業関連企業、自治体などにも参加を呼びかけました。

本フォーラムは、名和総長から開会の挨拶があった後、横田 篤農学研究院長から趣旨説明があり、引き続き、フードバレー財団のロジャー・ファン・フッセル所長、ワーヘニンゲン大学リサーチセンターのアルヨ・ロットハイス国際協力アジア担当マネージャー、増田隆夫工学研究院長による

基調講演が行われました。

続いてフォーラムの後半では、瀬戸口剛工学研究院副研究院長がコーディネーターを務め、ヨス・フェルステーヘンワーヘニンゲン大学リサーチセンタービジネスイノベーション上席研究員、浦田祥範株式会社道銀地域総合研究所専務執行取締役、松野 哲岩見沢市長、秋元勝彦北海道農政部生産振興局技術支援担当局長、野口 伸農学研究院副研究院長、高橋幸弘理学研究院教授、竹内 徹北海道立総合研究機構農業研究本部長、野島昌浩農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課産学連携室長の8名により、パネルディスカッションが行われました。

最後に、本フォーラムを後援するオランダ王国大使館のエバート・ヤン・クライエンブリック農務参事官の挨拶で閉会となりました。

本フォーラムは、定員250名を上回る312名が参加し、活発な意見交換が行われ、盛会のうちに終了しました。また、フォーラム後は交流会が開催され、参加者の親睦を深めるなど、非常に有意義な時間となりました。

（工学院・工学研究院・工学部、
農学院・農学研究院・農学部）



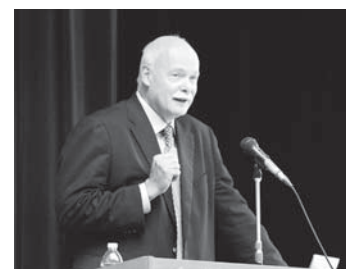
開会挨拶をする名和総長



趣旨説明をする横田農学研究院長



基調講演をするファン・フッセル氏



基調講演をするロットハイス氏



基調講演をする増田工学研究院長



パネルディスカッションの様子



コーディネーターを務める瀬戸口工学研究院副研究院長



閉会挨拶をするクライエンブリック氏



会場の様子

北極域研究センターがロシア北方（北極）連邦大学と部局間交流協定を締結

5月19日（土）、ロシアの北方（北極）連邦大学（NArFU）と北極域研究センターとの間の部局間交流協定（MoU）の調印式を、本学地球環境科学研究院会議室において行いました。

これは、NArFUの総長Elena Kudryashova氏が本学で行われた日露学長会議に出席した機会を捉えて実施したものです。NArFUはロシア西部の北極海に面したアルハンゲルスク市

に本部キャンパスがあり、ロシアの北方と北極域を対象とした研究に重きを置いた大学としての特色を持っています。また、UArctic（北極大学）のリサーチオフィスもあり、教育面でも北極域に関して力を入れています。そのような状況も踏まえ、当センターでは、昨年10月に初めてNArFUを訪れ、MoU協定と今後の共同研究について会議を持った後、MoUの内容を

継続して議論し、今回のMoU締結に至りました。調印式の後、今後の共同研究、研究者・学生交流などを具体的に議論しました。

※NArFU: Northern (Arctic) Federal University
<https://narfu.ru/en/>

（北極域研究センター）



協定書をもつ齊藤センター長(左)とElena Kudryashova 総長(右)



Elena Kudryashova 総長（中央）とセンター教員（左より大西准教授、大塚教授、齊藤センター長、深町副センター長、田中特任教授）



齊藤センター長によるセンター紹介の様子



会議風景

獣医学研究院動物実験施設竣工記念式典を挙行

獣医学研究院では、新築、改修中であった動物実験施設の竣工を祝い、5月29日（火）に動物実験施設竣工記念式典を挙行了しました。

竣工記念式典では、堀内基広研究院長の式辞に続き、名和豊春総長からの挨拶、帯広畜産大学井上昇理事からの祝辞の後、教員からの施設概要紹介が行われ、実際に施設の見学を行いました。

「動物実験施設」は平成7年に新築されましたが、老朽化が進み、今年改修工事が完了しました。また昨年、ウシやウマなど大動物の飼育を目的に「大動物教育研究施設」、感染症及び環境毒性分野の教育と研究の向上を目的に「感染・化学物質病態教育研究施設」がそれぞれ新築されました。

今回竣工した「動物施設」、「大動物教育研究施設」及び「感染・化学物質病態教育研究施設」は、本学獣医学研究院と帯広畜産大学が共同で目指している、欧州の獣医学教育評価機関（EAEVE）の国際認証を得るために必要な動物数を、その福祉に配慮して

飼育できる環境を整えています。さらにこれらの施設は、学部・大学院の教育や研究に加え、札幌市、北海道庁、獣医師会などと連携し、地域社会に貢献できる動物実験施設に発展していくことが期待されます。

（獣医学院・獣医学研究院・獣医学部）



施設内の見学



新築された大動物教育研究施設（左）と改修された動物施設（右）

獣医学院とエジンバラ大学獣医学部がコチュテル・プログラムの覚書を締結

獣医学院とエジンバラ大学獣医学部（The Royal (Dick) School of Veterinary Studies）との間で、コチュテル・プログラム（CP）覚書調印式を、本学院の昆泰寛学院長とエジンバラ大学獣医学部のDavid Argyle学部長ほか両校の関係者3名の列席のもと、3月21日（水）、エジンバラ大学獣医学部（イースターブッシュ・キャンパス）で行いました。本学院では初めてのコチュテル・プログラム覚書の締結です。

エジンバラ大学は、1582年に英国で6番目に創設された大学で、スコットランドでは最大規模の大学です。毎年大学ランキングで上位にランクされる世界でも有数の大学といえます。とくに医学部と獣医学部が統合型をなしカレッジを形成しているのが一つの特徴で、近年郊外に移転したイースター

ブッシュ・キャンパスには獣医学部をはじめ、世界最初のクローン羊ドリーで有名なロスリン研究所やスコットランド農科大学が併設されています。学部レベルでは、英国内にとどまらず、国際認証を取得していることもあって海外からの学生も受入れ、毎年160～180名の獣医師を輩出しています。日本の獣医学教育と比べると、より多くの臨床獣医師を育てていることが特徴で、とくに日本では数少ない馬（英国では伴侶動物）の臨床獣医師が多く巣立っています。これまでにサマー・インスティテュートや海外ラーニング・サテライトを活用して、およそ10年にわたって学部生の短期交換留学を毎年（隔年で受入れと派遣）実施し、双方の獣医学教育の特徴を学生や教員で共有しています。この間に培われた交流実績や信頼をベースにして、さらに大

学院での研究交流を活発化させていく方向で意見が一致し、今回のコチュテル・プログラムの締結に至りました。

今後は、学部レベルだけではなく大学院レベルでの獣医学教育や研究の交流がさらに活発化することが期待されます。

（獣医学院・獣医学研究院・獣医学部）



関係者記念撮影

獣医学部で「地方自治体等合同就職説明会」を開催

5月10日（木）、獣医学部4～6年生を中心に、本学部・学院の学生を対象とした「地方自治体等合同就職説明会」を、獣医学部主催により開催しました。本説明会は、地方自治体等の獣医師職を目指す本学部・学院の学生へ円滑に情報を提供することを目的とし、地方自治体等が個別に来学して実施していた説明会を集約し、平成23年度から開催しているものです。

本年度で8度目の実施であり、今回は全国各地から過去最高の38の地方自治体・団体の出席をいただきました。当日は学部4～6年生の授業を休講にしたこともあり、学部2年生から博士課

程4年生まで77名の学生が個別ブースで熱心に説明を受けました。参加自治体等にも大変好評で、来年以降も実施してほしい旨要望を受けました。

今後も、より一層のキャリア支援体制の充実・強化を図るため、実施内容

等について改めて検討していく予定です。

（獣医学院・獣医学研究院・獣医学部、国際感染症学院）



熱心に説明を受ける学生

平成30年度理学院優秀研究奨励賞授与式を挙行

理学院では、5月30日（水）に理学院大会議室において、平成30年度理学院優秀研究奨励賞授与式を挙行了しました。

この賞は、理学に関する優れた研究を推進する学生を表彰し、研究のさらなるステージアップを支援することを目的に、博士後期課程学生1年生及び2年生を対象として平成30年4月に設けられたもので、今回が初の授与となります。

今年度は、創造性に富む卓越した研究計画を立案し、これに取り組んでいる13名が受賞者に選ばれました。

授与式では、網塚 浩理学院長から、この賞の趣旨説明とお祝いの言葉が述べられた後、表彰状が一人ひとりに手渡されました。今後も、この賞が本学院学生の基礎科学に関する深い洞察力と創造性、研究立案能力の向上を一層喚起するものとなることを期待しています。

（理学院）



賞状の授与



網塚学院長と受賞者

函館キャンパスで「春のキャンパス一斉清掃」を実施

5月17日（木）に、函館キャンパスにおいて「春のキャンパス一斉清掃」を実施しました。

当日は、函館キャンパス構内とその周辺の清掃を行うことができ、大変きれいになりました。

参加人数は、学生・教職員を合わせ

て約200名となり、多くの方が参加しました。

収集されたごみ等は、一般ごみ、産業廃棄物（金属やプラスチックの混合物）、木の枝等を合わせて約1㎡になりました。

函館キャンパスでは毎年、春と秋の

年2回、キャンパス一斉清掃を行っており、次回は10月頃を予定しています。

これからも環境美化活動を推進し、きれいなキャンパスを目指します。ご協力ありがとうございました。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）



協力し合いながらの清掃作業



清掃活動を行う教員と学生



清掃活動を行う職員

メディア・コミュニケーション研究院でバイリンガル言語獲得に関する講演会を開催

4月30日（月・休）に香港中文大学のヴァージニア・イップ先生と香港大学のスティーブン・マッシュズ先生を講師にお招きし、“Acquiring Chinese in a multilingual context in early childhood”という題目で、香港などの多言語環境における児童のバイリンガル言語獲得に関して講演会を開催しました。

今回の講演会は、本研究院の河合靖教授を代表とする科研プロジェクト・基盤研究（B）「東アジア圏の複言語主義共同体の構築—多言語社会香港からの示唆」（平成27年度～平成29年度）から派生して開催したもので、プロジェクトのメンバーにより実施しました。

講演では、講師が長年にわたり採録した広東語（及び標準中国語）と英語のバイリンガル・トリリンガル児童の言語発達のデータが紹介され、そこか

ら得られたバイリンガル言語獲得に関する様々な知見、並びに一度獲得した言語能力の喪失などに関して示唆に富んだ話題が提供されました。そのほか、広東語を優勢言語とする香港の多言語環境の紹介、広東語の言語学的特徴や社会・文化的位置付け、広東語という中国語の一方言がいずれ消滅言語となりゆく可能性、その歯止めとしての子供たちによるマルチリンガル言語獲得が果たす役割などの興味深い話題

が語られました。1時間余りの講演の後、15分～20分にわたり活発な質疑応答が行われました。

ゴールデンウィークの休日に開催されたにもかかわらず、一般市民を含む20数名の聴衆に恵まれ、非常に意義深い講演会となりました。

（国際広報メディア・観光学院、メディア・コミュニケーション研究院、観光学高等研究センター）



広東語についての解説



バイリンガル児童の実例紹介

環境科学院で「留学生のキャリア支援セミナー」・「FD研修会」を開催

環境科学院では、6月5日（火）、「留学生のキャリア支援セミナー」及び「FD研修会」を、“大学院生のキャリア開発と日本での就職活動”と題し、環境科学院講義室において開催しました。

本セミナー・FD研修会は、人材育成本部の協力を得て、留学生が多数在学している本学院において、人材育成本部が留学生に対して提供している様々なキャリア支援プログラムや、多様な進路があること等を理解してもらうとともに、指導教員が留学生に適切な指導や助言を行う基礎的な知識を身につけてもらうFD研修会として、今回初めて開催したものです。

当日は、人材育成本部上級人材育成ステーション・国際人材育成プログラム飯田良親特任教授に講師を担当いただき、留学生30名、教職員7名が

参加のもと、前半は英語、後半は日本語により、同内容の講演を2回開催しました。

最初に、世話人である本学院沖野龍文教授から冒頭の挨拶があり、続いて飯田特任教授から、「博士人材の多様なキャリアパス」、「修士課程と博士後期課程の就職活動の違い」、「人材育成本部の博士後期課程学生へのキャリア支援とキャリアセンターの修士課程学

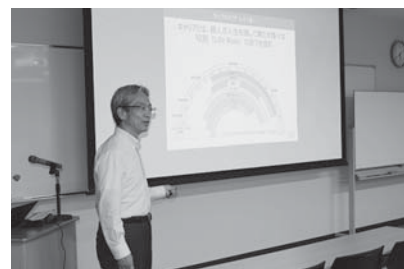
生へのキャリア支援の内容」などについて、大変分かりやすく講演を行っていただいた後、活発な質疑応答が交されました。

本学院では、これからも留学生に対する学業・生活・キャリア形成等の全般にわたる充実した支援に取り組んでいきます。

（環境科学院・地球環境科学研究院）



冒頭の挨拶を行う沖野教授



講演を行う飯田特任教授

植物園で夏期開園開始

北方生物圏フィールド科学センター耕地面積ステーション植物園は4月29日（日・祝）に夏期開園を開始しました。開園初日はまずまずの晴天となり、600名近くの方が来園されました。この日は休日であったため、家族で来園される方が多く、札幌の街中にある自然の一角でのひと時を楽しんで

いました。

また、5月4日（金・祝）は、みどりの日の無料開園を実施しました。当日は一時降雨との天気予報でしたが、年に一日だけの無料開園ということで2,300名以上の方が来園され、園内は大変な賑わいをみせました。

今年の植物園は、11月3日（土・祝）

まで開園（月曜日は休園、月曜日が休日となる場合はその翌平日が休園）し、それ以降は冬期間として温室のみの開館となります。

（北方生物圏フィールド科学センター）



宮部金吾記念館前の植物を觀賞する来園者たち



春の到来を実感させる桜林



北ローンでゆっくりとくつろぐ来園者たち

大学文書館で1970～1980年代学生関係資料を受贈

5月24日（木）、大学文書館では、竹下忠彦氏から在学関係資料5箱をご寄贈いただきました。

竹下氏は、教育学部教育学科を1982（昭和57）年に卒業されました。在学中は恵迪寮や月寒学寮に入寮していました。この頃は、寮の統廃合、寮費負担の見直しといった学寮問題がおきていた時期でした。

卒業後は、多摩養護学校や府中特別支援学校などに勤められ、特別支援教育に従事されました。

この度、受贈した資料は、日記、授業のノートやプリント、研究室のパンフレット、学寮関係のノートやプリント、アルバム・写真、恵迪寮の手拭い

や寮歌のレコード・カラオケカセットなど、内容・形態が多岐にわたります。

日記では、ご自身の時間割やゼミ発表の準備などの勉強、北大寮連（北海道大学学生寮連合）や七寮生討論会議、部活動やアルバイト、家族との手紙のやりとり、食事・コンパや読書・映画などの日常・余暇について、さまざまな事柄が詳細に綴られており、当時の北大生の生活の一端がうかがわれます。

アルバムには、第2代恵迪寮（1931～1983年）、月寒学寮、研究室で撮ったカラー写真が収められています。また、閉寮直前の第2代恵迪寮を取材した『アサヒグラフ』（1983年2月11日発

行）もあり、見開きのフォトグラビアで寮内の様子が写されています。

学寮については、日記以外にも、寮史編集委員会のノートがあります。学寮問題の経過がまとめられているほか、寮OBへのインタビューも行われていたことがわかります。

これらは、1970～1980年代の本学における教育や学生生活を伝える貴重な資料群です。

今後、受贈資料は、大学文書館において整理・保管し、閲覧・展示などを通じて広く紹介してまいります。

（大学文書館）



在学中の日記



正門と恵迪寮祭中の正面玄関にて



月寒学寮

看護週間ー「看護の日の夕べ」ほか様々な催しを実施

毎年5月12日（ナイチンゲール生誕日）を含む1週間は「看護週間」として制定されています。今年も本院では、看護の重要性について理解を深めようと様々な催しを行いました。

5月14日（月）から18日（金）までの間、医科外来ホールにて看護・くすり・栄養・歯の衛生・運動療法等の相談コーナーを設置しました。

16日（水）にはふれあい看護体験が行われ、札幌市内及び近郊の高校生が看護師とともに、病棟や外来で実際の看護業務を体験しました。

同日夜にはアメニティホールにて、

「第28回看護の日の夕べ」が寶金清博病院長の挨拶で開会し、札幌市立北辰中学校による合唱が行われました。誰もが知っている曲が演目となり、会場からも手拍子が沸き起こるなど、会場は大変盛り上がりしました。盛況の中、「第28回看護の日の夕べ」は、佐藤ひとみ看護部長の挨拶で幕を閉じました。このミニコンサートの様子は、本院アメニティホールに設置されたライブカメラを通して、病室の無料チャンネルでテレビ放映されました。

看護週間にちなんだ催しは、今年で

28回目を迎えますが、「看護」という言葉のもつ重さを再認識する貴重な機会として定着しています。

（北海道大学病院）



開会の挨拶をする寶金病院長



札幌市立北辰中学校による合唱



閉会の挨拶をする佐藤看護部長



看護相談コーナーの様子

北海道日本ハムファイターズがひまわり分校の子どもたちと交流

病気と闘う子どもたちを勇気づけるため、北海道日本ハムファイターズの栗山英樹監督と選手によるひまわり分校訪問が、5月7日（月）に行われました。

ひまわり分校への訪問は院内学級時代を通じて12回目を数え、毎年、入院中の子どもたちが大変楽しみにしているイベントです。今年は、栗山監督のほか、中島卓也選手会長、上沢直之選手、有原航平選手、高梨裕稔選手、松

本 剛選手の6名が来院されました。

監督と選手は、寶金清博病院長、佐藤ひとみ看護部長、門間太輔助教（スポーツ医学診療センター副部長）と懇談を行った後、本院6階の運動療法施設で、ひまわり分校の子どもたちからのインタビューやキャッチボールなどを通して交流を深めました。

また、病室から出られない子どもたちのために、小児科病棟に足を運び、監督と選手が病室を回って励まし

ました。子どもたちは一緒に写真を撮ったり、サインを書いてもらったりと、つかの間の楽しいひと時を過ごしました。

本院と北海道日本ハムファイターズとの間では、今年4月に「スポーツを通じた地域貢献及び健康増進に関する連携協定」を締結しており、今後も連携を強化していきます。

（北海道大学病院）



病院長室での懇談



子どもたちからのインタビューに応える栗山監督と選手たち



キャッチボールの様子

■お知らせ

加藤紘之名誉教授が平成30年春の叙勲で瑞宝中綬章を受章

この度、本学名誉教授である加藤紘之氏が、平成30年春の叙勲で瑞宝中綬章を受章されましたので、同氏の功績等を紹介いたします。

(総務企画部広報課)



かとう ひろゆき
加藤 紘之 氏

功績等

加藤紘之氏は、昭和49年7月北海道大学医学部附属病院助手に採用後、昭和62年4月同講師、昭和63年11月北海道大学医学部助教授を経て、平成5年11月同教授に就任され、平成16年3月までの10年5ヶ月にわたり、本学教授として教育・研究・診療に従事されました。

同氏は、消化器外科学の教育・研究において、内視鏡外科手術の発展・普及に努め、良性疾患のみならず悪性疾患に対しても腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術を定着させるなど、多大な貢献をされました。また、腫瘍外科学の先駆者として、肝胆膵悪性腫瘍に対する根治的な拡大手術の開発につとめられ、門脈圧亢進症の手術では独自のアイデアで新しい手術法も開発されました。

また、基礎的な研究面では、早くから癌の遺伝子研究に取り組まれ、癌の個性に応じて外科治療に固執することなく化学療法、放射線療法、免疫療法、さらに将来的には遺伝子治療など、腫瘍学としての総合的戦略を打ち立てるための礎を構築した結果、この功績に対して平成14年9月北海道医学賞が授与されています。

平成13年4月からは、北海道大学医学部附属病院長を務められ、在院日数の減少、病床稼働率の上昇、救急診療の充実、危機管理システムの導入、歯学部附属病院との合併等、同病院の管理・運営に貢献されました。

平成16年4月からは、国家公務員共済組合連合会斗南病院長に就任され、病院運営を着実に発展させ、診療科の再編整備を進めるなど、医療機関を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、足元を固めつつ常に次の時代に視点を据えて院内をリードしてこられました。その結果、平成28年9月ついに同病院の新築・移転を成し遂げました。

以上のように、同氏の永年にわたる教育・研究への功績と、病院運営や地域社会に対する貢献など保健衛生の発展に寄与された功績は極めて顕著であります。

略歴

昭和42年3月	北海道大学医学部 卒業
昭和49年7月	北海道大学医学部附属病院助手
昭和62年4月	北海道大学医学部附属病院講師
昭和63年11月	北海道大学医学部助教授
平成5年11月	北海道大学医学部教授
平成12年4月	北海道大学大学院医学研究科教授
平成13年4月	北海道大学医学部附属病院長、北海道大学評議員
平成15年3月	
平成16年3月	北海道大学停年退職
平成16年4月	北海道大学名誉教授、国家公務員共済組合連合会斗南病院長
平成26年4月	国家公務員共済組合連合会斗南病院顧問

「セイコーマート北海道大学店」の開店について

7月24日（火）の開店に向けて、本学構内では新感覚コンビニエンスストア「セイコーマート北海道大学店」の建設工事が着々と進められています。一般的なコンビニの概念にとらわれない新しい発想によるデザインを取り入れ、開放的な屋外テラス（2階）では、色彩豊かな北海道大学の四季をお楽しみいただけます。開店の際には記念品配付などのイベントも開催予定ですので、皆様楽しみにお待ちください。

（総務企画部広報課）

「緑のビアガーデン」を開催

毎年夏の恒例となっている「緑のビアガーデン」を、今年は7月30日（月）から8月3日（金）まで、百年記念会館で開催します。本学の自然豊かなキャンパスの中で、最高のひと時を味わっていただけますよう、皆様のお越しをお待ちしています。

○緑のビアガーデン

期間：7月30日（月）～8月3日（金） 5日間

17:00～20:30（20:00オーダーストップ）

場所：百年記念会館（札幌市北区北9条西6丁目）

（総務企画部広報課）

「緑のジンギスカン&ワイン&ビア」を開催

7月24日（火）に開店する「セイコーマート北海道大学店」の企画として、「緑のジンギスカン&ワイン&ビア」を開催します。期間は8月6日（月）から8月10日（金）までを予定しています。

○緑のジンギスカン&ワイン&ビア

期間：8月6日（月）～8月10日（金） 5日間

17:00～20:30（20:00オーダーストップ）

場所：セイコーマート北海道大学店（札幌市北区北11条西7丁目）

（総務企画部広報課）

■ 諸会議の開催状況

役員会（平成30年5月8日）

議案・クロスアポイントメントの適用について

- ・北海道大学と札幌市の国際会議等の誘致・開催に関する連携協定の締結について
- ・博士課程教育リーディングプログラムへの臨時的支援について
- ・博士課程教育リーディングプログラムへの補助事業期間終了後の支援について
- ・目的積立金の活用事業について

協議事項・タイ農業・協同組合省、地理情報・宇宙技術開発機関との連携協定の締結について

- ・平成31年度概算要求事項（施設整備事業）について

報告事項・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）との連携協力協定の終了について

- ・超過勤務実績について
 - ・会計検査院による会計実地検査の結果について
-

教育研究評議会（平成30年5月16日）

議題・経営協議会の学外委員について

- ・名誉学位の授与について
- ・タイ農業・協同組合省、地理情報・宇宙技術開発機関との連携協定の締結について
- ・平成31年度概算要求事項（施設整備事業）について

報告事項・株式会社セコマとの地域創生連携協定の締結について

- ・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）との連携協力協定の終了について
-

役員会（平成30年5月28日）

議案・名誉学位の授与について

- ・タイ農業・協同組合省、地理情報・宇宙技術開発機関との連携協定の締結について
- ・卓越大学院プログラムの申請について

報告事項・Society5.0に対応した高度技術人材育成事業未来価値創造人材育成プログラムの申請について

- ・データ関連人材育成プログラムの申請について
 - ・平成29年度資金の運用状況について
 - ・平成29年度病院収支の概要について
-

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しています。

■ 学内規程

国立大学法人北海道大学内部監査規程等の一部を改正する規程

（平成30年5月11日海大達第89号）

国立大学法人北海道大学安全衛生管理規程の一部を改正する規程

（平成30年5月11日海大達第90号）

国立大学法人北海道大学個人情報管理規程等の一部を改正する規程

（平成30年5月11日海大達第91号）

平成30年4月1日付けで、WPI対策室を改組したことに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学電子科学研究所規程の一部を改正する規程

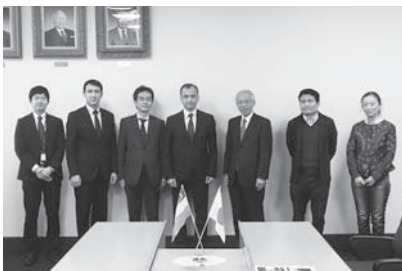
（平成30年6月1日海大達第92号）

電子科学研究所の組織の新設及び名称変更に伴い、所要の改正を行ったものです。

表敬訪問

海外

年月日	来訪者	来訪目的
30.5.9	駐日ウズベキスタン共和国大使館 Gayrat Fazilov 大使	両国の交流に関する懇談
30.5.17	駐日エストニア共和国大使館 Jaak Lensment 大使	両国の交流に関する懇談
30.5.18	駐日ロシア連邦大使館 Mikhail Galuzin 大使	両国の交流に関する懇談
30.5.23	ハルビン工業大学（中国） Xu Dianguo 副学長	両大学の交流に関する懇談
30.5.25	ポートランド州立大学（アメリカ） Rahmat Shoureshi 学長	両大学の交流に関する懇談
30.6.6	ラップランド大学（フィンランド） Outi Snellmn 国際部長	アンバサダー委嘱式及び両大学の交流に関する懇談



Gayrat Fazilov 駐日ウズベキスタン大使(中央)



Jaak Lensment 駐日エストニア大使(左側)



Mikhail Galuzin 駐日ロシア大使(左側)



ハルビン工業大学（中国） Xu Dianguo 副学長
(左から4番目)



ポートランド州立大学（アメリカ） Rahmat Shoureshi 学長(左側)



ラップランド大学（フィンランド） Outi Snellmn 国際部長(正面右側)

(国際部国際連携課)

人事

平成30年5月7日付発令

新職名(発令事項)	氏名	旧職名(現職名)
【役員】 (兼) 財務部長	関 靖 直	理事(事務局長)

訃報

名誉教授 ^{やまぎし}山岸 ^{としお}俊男 氏
(享年70歳)



名誉教授 山岸俊男先生は病氣療養中のところ、平成30年5月8日に逝去されました。ここに先生の生前の功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

山岸先生は、昭和23年1月、愛知県に生まれ、一橋大学を経て、ワシントン大学からPh.D.の学位を授与されました。同56年、北海道大学文学部助教授に着任、その後ワシントン大学社会

学部助教授を経て、同63年には再び文学部助教授に着任され、平成5～23年は同教授として勤められました。その後、玉川大学、東京大学を経て、同26年からは一橋大学特任教授を勤められていました。また、この間、La Trobe大学高等研究所著名名誉フェロー、行動科学高等研究センターフェローを歴任するなど、国際的にも様々な研究機関で研究を行ってこられました。

山岸先生は社会心理学者の枠の中に留まることなく、社会科学諸分野（社会学、経済学、心理学）、生物学、及び神経科学などにまたがる真に学際的な研究を行ってこられました。このような貢献は高く評価され、日経・経済図書文化賞、日本心理学会国際賞特別賞、アジア社会心理学会三隅賞、紫綬褒章などを受賞され、平成25年には文

化功労者に顕彰されました。

山岸先生はまた、平成14年からは21世紀COE、18年～20年はGlobal COEのリーダーとして同拠点の運営を担い、研究の国際的な発信と若手研究者育成に顕著な成果を挙げました。更に、同19年、北海道大学に先端的な社会科学実験を展開するための日本で唯一の専門機関である社会科学実験研究センターを設立し、世界レベルの拠点形成と人材育成に大きく尽力したこともまた、特筆すべき貢献です。

真の社会科学の揺籃の時期に当たる現在、山岸先生の研究のインパクトは、今後ますます重みを増していくでしょう。ここに山岸先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(文学研究科・文学部)

資料

在籍学生数（平成30年5月1日現在）

- (注) 1 () 内は女子の内数, < > 内は女子の比率
 2 [] 内は2年次編入学定員で外数
 3 [] 内は3年次編入学定員で外数(工学部は高専卒業者の受入れ)
 4 以下の表は, すべて外国人留学生数を含む

学部

学部等名	入学定員	在籍者数							研究生	聴講生	科目等履修生	特別聴講学生	合計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計					
文学部	185人 [人]	—	191人	189人	233人	—	—	613人 (282<46.0%>)	31人	11人	11人	73人	739人 (365<49.4%>)
教育学部	50 [10]	—	51	62	76	—	—	189 (76<40.2%>)	17		7	3	216 (94<43.5%>)
法学部	200 [10] [10]	—	227	212	244	—	—	683 (204<29.9%>)		3	2	17	705 (214<30.4%>)
経済学部	190	—	204	209	217	—	—	630 (156<24.8%>)	15	1		10	656 (176<26.8%>)
理学部	300	—	307	317	374	—	—	998 (235<23.5%>)		1	3	14	1,016 (243<23.9%>)
医学部	287 [5]	—	308	299	306	107	107	1,127 (504<44.7%>)	1			8	1,136 (507<44.6%>)
歯学部	53	—	54	48	54	54	48	258 (105<40.7%>)	2				260 (105<40.4%>)
薬学部	80	—	79	84	85	30	27	305 (129<42.3%>)		1	4		310 (132<42.6%>)
工学部	670 [10]	—	695	732	851	—	—	2,278 (310<13.6%>)				41	2,319 (321<13.8%>)
農学部	215	—	220	228	239	—	—	687 (260<37.8%>)	1	5	2	8	703 (264<37.6%>)
獣医学部	40	—	42	43	42	47	40	214 (94<43.9%>)					214 (94<43.9%>)
水産学部	215	—	234	211	202	—	—	647 (147<22.7%>)	4		1	8	660 (154<23.3%>)
現代日本学 プログラム課程	—	—	16	16	9	—	—	41 (31<75.6%>)					41 (31<75.6%>)
総合教育部	—	2,676	—	—	—	—	—	2,676 (758<28.3%>)				282	2,958 (855<28.9%>)
合計	2,485 [15] [30]	2,676	2,628	2,650	2,932	238	222	11,346 (3,291<29.0%>)	71	22	30	464	11,933 (3,555<29.8%>)

※学部の入学定員は, 学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

研究所等

研究所等名	研究生	特別研究学生	日本語・日本文化 研修生	日本語研修生	合計
観光学高等研究センター	1人	—	—	—	1人(1<100.0%>)
低温科学研究所	—	—	—	—	0(0<0.0%>)
電子科学研究所	1	—	—	—	1(0<0.0%>)
遺伝子病制御研究所	2	—	—	—	2(1<50.0%>)
触媒科学研究所	5	—	—	—	5(1<20.0%>)
スラブ・ユーラシア研究センター	4	—	—	—	4(2<50.0%>)
情報基盤センター	1	—	—	—	1(1<100.0%>)
国際連携機構	—	—	54	13	67(43<64.2%>)
総合博物館	—	—	—	—	0(0<0.0%>)
北方生物圏フィールド科学センター	2	—	—	—	2(0<0.0%>)
高等教育推進機構	3	—	—	—	3(2<66.7%>)
合計	19	0	54	13	86(51<59.3%>)

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程、下段は2年課程の学生数
 生命科学院の博士課程の上段は3年制博士後期課程、下段は4年制博士課程の学生数
 医学院の修士課程1年次の上段は公衆衛生学1年コースの学生数

■大学院

研究科名	修士課程(博士前期)				専門職学位課程				博士課程(博士後期及び博士一貫)					研究	聴講	科目等履修生	特別研究学生	特別聴講学生	合計		
	入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数											
		1年次	2年次	小計		1年次	2年次	3年次		小計	1年次	2年次	3年次							4年次	小計
文学研究科	90人	101人	105人	206人 (115(55.8%))	一人	一人	一人	一人	一人	35人	40人	30人	101人	一人	171人 (86(50.3%))	14人	3人	2人	6人	402人 (213(53.0%))	
法学研究科	20	17	27	44 (19(43.2))	50	16	12	16	87 (19(21.8))	15	8	6	17	—	31 (10(32.3))	21		2	1	8	194 (64(33.0))
情報科学研究科	177	223	203	426 (41(9.6))	—	—	—	—	—	42	46	37	66	—	149 (18(12.1))	15			1	5	596 (62(10.4))
薬学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
水産科学院	90	124	101	225 (64(28.4))	—	—	—	—	—	35	19	14	20	—	53 (18(34.0))				3		281 (83(29.5))
水産科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1					1 (1(100.0))
環境科学院	159	151	175	326 (106(32.5))	—	—	—	—	—	63	43	35	78	—	156 (58(37.2))				3	1	486 (165(34.0))
地球環境科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14					14 (8(57.1))
理学院	129	129	140	269 (49(18.2))	—	—	—	—	—	56	48	37	72	—	157 (29(18.5))				2		428 (78(18.2))
理学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6					6 (0(0.0))
農学院	142	201	175	376 (127(33.8))	—	—	—	—	—	42	37	42	72	—	151 (43(28.5))				2		529 (170(32.1))
農学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14					14 (10(71.4))
生命科学院	132	151	125	276 (100(36.2))	—	—	—	—	—	44	40	47	57	—	174 (42(24.1))				1		451 (143(31.7))
先端生命科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	6	7	11	—	3					3 (0(0.0))
教育学院	45	43	61	104 (65(62.5))	—	—	—	—	—	21	16	12	60	—	88 (47(53.4))	1	1	2			196 (116(59.2))
教育学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3					3 (2(66.7))
国際広報メディア・観光学院	42	50	50	100 (78(78.0))	—	—	—	—	—	17	7	10	57	—	74 (36(48.6))	2	3	1	1		181 (119(65.7))
メディア・コミュニケーション研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10					10 (6(60.0))
保健科学院	40	46	58	104 (52(50.0))	—	—	—	—	—	10	10	8	23	—	41 (18(43.9))						145 (70(48.3))
保健科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17					17 (10(58.8))
工学院	326	386	416	802 (123(15.3))	—	—	—	—	—	69	71	61	76	—	208 (37(17.8))				1	7	1018 (163(16.0))
工学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27					27 (7(25.9))
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1 (0(0.0))						1 (0(0.0))
総合化学院	129	165	149	314 (63(20.1))	—	—	—	—	—	38	44	41	69	—	154 (37(24.0))				3		471 (102(21.7))
経済学院	35	58	29	87 (56(64.4))	20	20	22	—	42 (10(23.8))	8	6	11	—	17 (8(47.1))		1	1		3		151 (76(50.3))
経済学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
経済学研究科	—	—	4	4 (2(50.0))	—	1	—	—	1 (0(0.0))	—	—	—	14	—	14 (2(14.3))						19 (4(21.1))
医学院	20	2	25	58 (26(44.8))	—	—	—	—	—	90	102	81	—	—	183 (40(21.9))				3		244 (69(28.3))
医学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10					10 (5(50.0))
医学研究科	—	—	3	3 (1(33.3))	—	—	—	—	—	—	—	16	89	156	261 (61(23.4))						264 (62(23.5))
歯学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	48	19	—	—	67 (21(31.3))						67 (21(31.3))
歯学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7					7 (2(28.6))
歯学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	34	34	71 (28(39.4))						71 (28(39.4))
獣医学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	16	12	—	—	28 (10(35.7))						28 (10(35.7))
獣医学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7					7 (2(28.6))
獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	9	26	19	57 (25(43.9))						57 (25(43.9))
医理工学院	12	12	15	27 (1(37))	—	—	—	—	—	5	6	6	—	—	12 (2(16.7))						39 (3(7.7))
国際感染症学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	19	11	—	—	30 (11(36.7))						30 (11(36.7))
国際食資源学院	15	16	17	33 (16(48.5))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						33 (16(48.5))
公共政策学教育部	—	—	—	—	30	32	45	—	77 (24(31.2))	—	—	—	—	—	—				1		78 (24(30.8))
公共政策学連携研究部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7					7 (4(57.1))
合計	1603	1906	1878	3784 (1104(29.2))	100	86	105	16	207 (53(25.6))	664	635	554	939	220	2348 (687(29.3))	176	8	9	29	25	6586 (1954(29.7))

(学務部学務企画課)

平成30年度外国人留学生数

【部局別】

学部等

平成30年5月1日現在

部 局 名	国費留学生		外国政府派遣留学生		私費留学生		合 計
	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	
文 学 部		3 (2)				100 (72)	103 (74)
教 育 学 部					1 (1)	20 (15)	21 (16)
法 学 部					1	17 (10)	18 (10)
経 済 学 部						25 (19)	25 (19)
理 学 部			1		3	14 (6)	18 (6)
医 学 部	1				1	8 (3)	10 (3)
歯 学 部							0
薬 学 部	1				1		2
工 学 部	29 (3)		9 (4)	3	14 (3)	39 (10)	94 (20)
農 学 部	1 (1)				4 (2)	8 (1)	13 (4)
獣 医 学 部							0
水 産 学 部					1 (1)	11 (7)	12 (8)
現代日本学プログラム課程					41 (31)		41 (31)
高等教育推進機構総合教育部	13 (4)				37 (21)		50 (25)
合 計	45 (8)	3 (2)	10 (4)	3	104 (59)	242 (143)	407 (216)

大学院等

部 局 名	国費留学生				外国政府派遣留学生				私費留学生				合 計
	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	
文 学 研 究 科	1 (1)		11 (4)	3 (1)			2		77 (66)		49 (29)	10 (6)	153 (107)
法 学 研 究 科	1 (1)						1	1 (1)	21 (11)		10 (2)	29 (15)	63 (30)
情 報 科 学 研 究 科	2 (1)		8 (1)				4 (1)		47 (7)		32 (11)	15 (3)	108 (24)
水 産 科 学 研 究 院	1 (1)		4 (1)				4 (3)		13 (7)		10 (4)	3 (1)	35 (17)
環 境 科 学 研 究 院	14 (7)		18 (7)				3 (2)	1	67 (35)		42 (20)	1 (1)	145 (71)
地 球 環 境 科 学 研 究 院												14 (8)	14 (8)
理 学 研 究 院	5 (1)		12 (3)				1		20 (9)		36 (9)	2	76 (22)
農 学 研 究 院	18 (11)		24 (13)				2 (1)		37 (20)		45 (12)	1	127 (57)
農 学 研 究 院				3 (2)								8 (6)	11 (8)
生 命 科 学 研 究 院	4		33 (10)				2		32 (13)		20 (9)		91 (32)
先 端 生 命 科 学 研 究 院												3	3
教 育 学 研 究 院			3 (3)				1 (1)		40 (33)		15 (9)	2 (2)	61 (48)
メ デ ィ ア ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 院				2 (1)								1 (1)	1 (1)
メ デ ィ ア ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 院				2 (1)								8 (5)	10 (6)
国 際 広 報 メ デ ィ ア ・ 観 光 学 研 究 院	4 (4)		1 (1)				1		66 (57)		19 (11)	2 (1)	93 (74)
保 健 科 学 研 究 院			2 (2)						11 (9)		3 (2)		16 (13)
保 健 科 学 研 究 院												15 (9)	15 (9)
工 学 研 究 院	39 (13)		37 (9)				15 (3)		81 (25)		43 (12)	8 (3)	223 (65)
工 学 研 究 院				3								21 (5)	24 (5)
総 合 化 学 研 究 院	3		12 (8)				5 (2)		28 (9)		37 (14)	1 (1)	86 (34)
経 済 学 研 究 院	4 (2)		4 (1)						65 (49)	9 (3)	6 (5)	3 (1)	91 (61)
経 済 学 研 究 院	1								1		2		4
医 学 研 究 院	1 (1)		2 (2)						5		11 (6)	2 (2)	21 (11)
医 学 研 究 院												4 (2)	4 (2)
医 学 研 究 院			5 (2)				3 (1)				10 (6)		18 (9)
歯 学 研 究 院											7 (3)		7 (3)
歯 学 研 究 院												1 (1)	1 (1)
歯 学 研 究 院			1 (1)								4 (2)		5 (3)
獣 医 学 研 究 院			7 (2)								7 (3)		14 (5)
獣 医 学 研 究 院				1								2 (1)	3 (1)
獣 医 学 研 究 院			18 (10)								14 (8)		32 (18)
医 理 工 学 研 究 院											2 (1)		2 (1)
国 際 感 染 症 学 研 究 院			10 (5)								7 (2)		17 (7)
国 際 食 資 源 学 研 究 院									6 (3)				6 (3)
公 共 政 策 学 教 育 部										21 (16)			21 (16)
公 共 政 策 学 連 携 研 究 部												7 (4)	7 (4)
電 子 科 学 研 究 所												1	1
遺 伝 子 病 制 御 研 究 所												1 (1)	1 (1)
触 媒 科 学 研 究 所												5 (1)	5 (1)
ス ラ ブ ・ ユ ー ラ シ ア 研 究 セ ン タ ー				1 (1)								3 (1)	4 (2)
情 報 基 盤 セ ン タ ー												1 (1)	1 (1)
北 方 生 物 圏 フ ィ ー ル ド 科 学 セ ン タ ー												1	1
観 光 学 高 等 研 究 セ ン タ ー												1 (1)	1 (1)
高 等 教 育 推 進 機 構												3 (2)	3 (2)
合 計	98 (43)	0	212 (85)	13 (5)	0	0	44 (14)	2 (1)	617 (353)	30 (19)	431 (180)	180 (85)	1,627 (785)

日本語研修生等

国 際 連 携 機 構	日本語・日本文化研修生			日本語研修生		合 計
	国 費	外国政府派遣	私 費	国 費	私 費	
	24 (17)	2	28 (18)	13 (8)	0	67 (43)

外国人留学生総数（「留学」以外の在留資格の者を含む）

学部留学生数	大 学 院 留 学 生			研 究 生 等	日 本 語 研 修 生 日本語・日本文化研修生	留 学 生 総 数	外 国 人 学 生 （「留学」以外）	留 学 生 及 び 外 国 人 学 生 総 計
	修 士 課 程	専 門 職 学 位 課 程	博 士 課 程					
159 (71)	715 (396)	30 (19)	687 (279)	443 (236)	67 (43)	2,101 (1,044)	60 (23)	2,161 (1,067)

* ()内は女子を内数で示す

* 修士課程には博士前期課程を、博士課程には博士後期課程を含む

* 研究生等には特別研究学生及び特別聴講学生を含む

(国際部国際教務課)

平成29年度卒業・修了者の就職等状況一覧

1. 就職等状況

学部

平成30年5月1日現在

学部・学科	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部		歯学部	薬学部		工学部	農学部	獣医学部	水産学部	合計
						医学科	保健学科		薬科学科(4年制)	薬科学科(6年制)					
(A)	87	32	74	48	73	28	132	23	17	13	96	85	17	57	782
卒業者数	186	61	213	194	293	125	191	55	49	29	703	230	38	223	2,590
(B)	74	20	62	40	12	0	96	0	3	12	24	28	15	16	402
就職希望者数	147	40	166	164	41	0	129	1	3	26	107	54	31	55	964
(C)	(11)	(69)	(10)	(58)	(38)	(10)	(10)	(0)	(0)	(12)	(24)	(28)	(14)	(15)	(3)
就職者数	135	38	158	157	31	0	124	1	3	26	100	54	30	51	908
うち	(38)	(10)	(37)	(28)	(9)	(0)	(27)	(0)	(3)	(8)	(19)	(22)	(13)	(8)	(22)
道外就職者	78	21	106	106	26	0	34	1	3	13	74	41	27	34	564
うち	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)
有職者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(D)	93.2	95.0	93.5	95.0	83.3	-	97.9	-	100.0	100.0	100.0	100.0	93.3	93.8	95.5
就職率(%)	91.8	95.0	95.2	95.7	75.6	-	96.1	100.0	100.0	100.0	93.5	100.0	96.8	92.7	94.2
昨年の就職率(%)	91.1	100.0	91.7	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	84.6	100.0	100.0	84.6	95.6
88.7	97.7	93.0	96.5	87.0	-	-	97.5	-	100.0	100.0	89.2	91.8	100.0	83.3	92.9
(E)	(7)	(10)	(5)	(8)	(5)	(5)	(51)	(57)	(11)	(1)	(26)	(32)	(0)	(0)	(14)
進学者数	(25)	28	(15)	17	(22)	37	(9)	12	(223)	242	(3)	3	(47)	53	(0)
うち	(7)	(10)	(9)	(10)	(5)	(8)	(5)	(5)	(51)	(57)	(11)	(1)	(26)	(32)	(0)
大学院	(25)	28	(15)	17	(22)	37	(9)	12	(223)	242	(3)	3	(47)	49	(0)
うち	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
大学	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
うち	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
就職している者	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
(F)	8	3	8	5	6	27	6	23	0	0	0	2	1	1	90
その他	23	6	18	25	20	122	14	54	0	0	19	4	3	13	321

- ・ $A = C + E + F$ ・ $D = C \div B \times 100$ ・ 上段 () は女子で内数/就職率 () は女子の就職率
- ・ 就職者数 [] は、正規の職員等でないもので内数。
- ・ 進学者数 [] は、本学進学者数で内数。
- ・ 進学者数「うち就職している者 []」は、正規の職員等でないもので内数。
- ◇医学部医学科については、卒業後2年間の臨床研修期間がある。
- ◇歯学部については、卒業後1年間の臨床研修期間がある。
- ◇薬学部は、4年制(薬科学科)と、6年制(薬学科)がある。

修士課程

研究科・学院	文学研究科	法学研究科	経済学研究科*	医学研究科*	医学院公衆衛生学コース(1年コース)	情報科学研究科	水産科学院	環境科学院	理学院	農学院	生命科学院	教育学院	国際広報メディア・観光学院	保健科学院	工学院	総合化学院	合計
	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)
(A)	45	9	27	17	0	16	32	57	23	66	52	27	35	19	48	28	501
修了者数	85	15	44	28	4	157	112	141	131	167	119	34	49	41	362	142	1,631
(B)	21	8	15	14	0	16	24	38	15	54	40	15	22	15	30	27	354
就職希望者数	38	10	26	23	1	134	97	100	81	141	89	18	32	32	303	119	1,246
(C)	(11)	(17)	(11)	(8)	(0)	(13)	(11)	(13)	(0)	(0)	(16)	(0)	(24)	(0)	(15)	(11)	(51)
就職者数	(11)	29	(1)	10	(0)	24	(1)	19	(0)	1	(0)	134	(0)	97	(0)	97	(2)
うち	(8)	(5)	(9)	(10)	(0)	(15)	(20)	(27)	(8)	(42)	(37)	(4)	(8)	(3)	(28)	(22)	(246)
道外就職者	16	7	18	13	0	121	86	78	62	111	85	6	12	10	279	107	1,011
うち	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(1)	(1)	(0)	(0)	(6)
有職者	2	0	0	2	1	0	0	2	0	0	0	2	1	1	0	0	11
(D)	81.0	100.0	86.7	92.9	-	100.0	100.0	92.1	100.0	94.4	100.0	66.7	77.3	93.3	100.0	96.3	92.9
就職率(%)	76.3	100.0	85.7	82.6	100.0	100.0	100.0	97.0	97.5	97.9	100.0	66.7	84.4	93.8	98.7	98.3	96.5
昨年の就職率(%)	90.0	80.0	87.5	71.4	-	94.1	100.0	90.7	92.3	97.8	97.0	83.3	88.0	95.2	100.0	100.0	93.9
75.0	77.8	88.9	81.8	-	97.9	97.5	95.8	96.3	95.0	97.8	82.1	86.1	97.8	98.3	100.0	95.7	
(E)	(14)	(13)	(0)	(1)	(0)	(0)	(11)	1	(0)	(0)	(0)	(6)	(7)	(12)	(12)	(15)	(5)
進学者数	(27)	27	(4)	5	(0)	0	(1)	2	(3)	3	(18)	18	(12)	12	(27)	27	(35)
うち	(14)	(13)	(0)	(1)	(0)	(0)	(11)	1	(0)	(0)	(0)	(6)	(7)	(12)	(12)	(15)	(5)
大学院	(27)	27	(4)	5	(0)	0	(1)	2	(3)	3	(18)	18	(12)	12	(27)	27	(35)
うち	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
大学	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
うち	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
就職している者	(0)	2	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
(F)	15	0	14	3	0	0	11	10	3	9	3	13	16	3	6	1	97
その他	29	0	20	7	0	5	3	17	17	11	7	15	19	4	26	2	182

- ・ $A = C + E + F$ ・ $D = C \div B \times 100$ ・ 上段 () は女子で内数/就職率 () は女子の就職率
- ・ 就職者数 [] は、正規の職員等でないもので内数。
- ・ 進学者数 [] は、本学進学者数で内数。
- ・ 進学者数「うち就職している者 []」は、正規の職員等でないもので内数。
- ◇平成29年4月1日付で経済学研究科、医学研究科は、経済学院、医学院に改組。

専門職大学院

項目	研究科等	法科大学院 (法学研究科)	会計専門職大学院 (経済学研究科*)	公共政策大学院 (公共政策学教育部)	合計
		人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)
(A)		(10)	(2)	(8)	(20)
修了者数		39	12	26	77
(B)		(1)	(1)	(5)	(7)
就職希望者数		1	7	21	29
(C)		〔0〕 (1)	〔0〕 (1)	〔0〕 (5)	〔0〕 (7)
就職者数		〔0〕 1	〔0〕 7	〔0〕 21	〔0〕 29
うち		(1)	(1)	(2)	(4)
道外就職者		1	4	9	14
うち		(0)	(0)	(1)	(1)
有職者		0	0	8	8
(D)		(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
就職率(%)		100.0	100.0	100.0	100.0
昨年の就職率(%)		-	(100.0)	(100.0)	(100.0)
		100.0	83.3	97.4	95.6
(E)		〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)
進学者数		〔0〕 0	〔0〕 0	〔0〕 0	〔0〕 0
うち		〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)
大学院		〔0〕 0	〔0〕 0	〔0〕 0	〔0〕 0
うち		〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)
大学		〔0〕 0	〔0〕 0	〔0〕 0	〔0〕 0
うち		〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)
就職している者		〔0〕 0	〔0〕 0	〔0〕 0	〔0〕 0
(F)		(9)	(1)	(3)	(13)
その他		38	5	5	48

- ・ A=C+E+F ・ D=C÷B×100 ・ 上段 () は女子で内数/就職率 () は女子の就職率
- ・ 就職者数 [] は、正規の職員等でないもので内数。
- ・ 進学者数 [] は、本学進学者数で内数。
- ・ 進学者数「うち就職している者 []」は、正規の職員等でないもので内数。
- ◇法科大学院の (F) その他には、修了後に実施される司法試験の受験準備者を含む。
- ◇平成29年4月1日付で経済学研究科は経済学院に改組。

博士課程

項目	文学研究科		法学研究科		経済学研究科* (経済学院内)		医学研究科*		歯学研究科*		獣医学研究科*		情報科学研究科		水産科学院		環境科学院		理学院		農学院		生命科学学院*		教育学院		国際広報メディア・観光学院		保健科学院		工学院*		総合化学院		合計	
	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)		
(A)	〔9〕 (18)	〔1〕 (3)	〔0〕 (4)	〔1〕 (21)	〔0〕 (5)	〔3〕 (14)	〔0〕 (2)	〔3〕 (5)	〔2〕 (17)	〔1〕 (5)	〔4〕 (15)	〔1〕 (10)	〔1〕 (2)	〔2〕 (7)	〔0〕 (2)	〔0〕 (8)	〔1〕 (12)	〔29〕 (130)																		
修了者数	〔17〕 (31)	〔2〕 (8)	〔0〕 (5)	〔6〕 (94)	〔0〕 (23)	〔5〕 (27)	〔3〕 (25)	〔5〕 (18)	〔8〕 (38)	〔9〕 (34)	〔7〕 (36)	〔3〕 (36)	〔7〕 (8)	〔4〕 (10)	〔1〕 (48)	〔6〕 (40)	〔84〕 (499)																			
(B)	(9)	(2)	(1)	(17)	(2)	(13)	(1)	(2)	(12)	(4)	(6)	(5)	(1)	(3)	(2)	(3)	(8)	(91)																		
就職希望者数	17	6	1	78	16	24	22	13	24	21	15	28	7	6	8	22	34	342																		
(C)	〔2〕 (7)	〔0〕 (2)	〔1〕 (1)	〔6〕 (17)	〔2〕 (2)	〔3〕 (12)	〔0〕 (1)	〔2〕 (2)	〔6〕 (9)	〔2〕 (4)	〔2〕 (5)	〔1〕 (5)	〔0〕 (1)	〔2〕 (2)	〔0〕 (2)	〔0〕 (3)	〔5〕 (8)	〔94〕 (83)																		
就職者数	〔4〕 (14)	〔0〕 (6)	〔1〕 (1)	〔27〕 (78)	〔6〕 (16)	〔7〕 (23)	〔4〕 (21)	〔5〕 (13)	〔8〕 (20)	〔6〕 (21)	〔6〕 (14)	〔8〕 (28)	〔0〕 (7)	〔3〕 (5)	〔1〕 (8)	〔2〕 (21)	〔13〕 (34)	〔101〕 (330)																		
うち	(3)	(0)	(0)	(3)	(0)	(9)	(1)	(1)	(6)	(3)	(2)	(4)	(0)	(1)	(0)	(3)	(6)	(42)																		
道外就職者	9	1	0	9	3	16	16	11	15	15	6	19	1	1	2	19	29	172																		
うち	(0)	(0)	(0)	(8)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(2)	(0)	(0)	(13)																		
有職者	2	0	0	27	0	0	4	5	2	0	1	2	6	1	2	9	3	64																		
(D)	(77.8)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(92.3)	(100.0)	(100.0)	(75.0)	(100.0)	(83.3)	(100.0)	(100.0)	(66.7)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(91.2)																		
就職率(%)	82.4	100.0	100.0	100.0	100.0	95.8	95.5	100.0	83.3	100.0	93.3	100.0	100.0	83.3	100.0	95.5	100.0	96.5																		
昨年の就職率(%)	(75.0)	(100.0)	(100.0)	(86.7)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(83.7)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(66.7)	(100.0)	(66.7)	(100.0)	(91.1)																		
	79.2	100.0	100.0	95.5	100.0	100.0	100.0	100.0	91.7	100.0	100.0	100.0	100.0	83.3	100.0	95.8	95.2	96.1																		
(E)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)																		
進学者数	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)																		
うち	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)																		
大学院	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)																		
うち	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)																		
大学	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)																		
うち	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)																		
就職している者	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)	〔0〕 (0)																		
(F)	(11)	(1)	(3)	(4)	(3)	(2)	(1)	(3)	(8)	(1)	(10)	(5)	(1)	(5)	(0)	(5)	(4)	(67)																		
その他	17	2	4	16	7	4	4	5	18	13	22	8	1	5	0	27	6	159																		

- ・ A=C+E+F ・ D=C÷B×100 ・ 上段 () は女子で内数/就職率 () は女子の就職率
- ・ 博士の修了者数 [] は、単位修得退学者で内数。(※単位修得退学者も便宜上「修了者」として含める。)
- ・ 就職者数 [] は、正規の職員等でないもので内数。
- ・ 進学者数 [] は、本学進学者数で内数。
- ・ 進学者数「うち就職している者 []」は、正規の職員等でないもので内数。
- ◇平成29年4月1日付で経済学研究科、医学研究科、歯学研究科、獣医学研究科は、経済学院、医学院、歯学院、獣医学院に改組。
- ◇生命科学学院は、後期課程(生命科学専攻)と、一貫制課程(臨床薬学専攻)がある。
- ◇工学院には、工学研究科修了者を含む。

平成30年5月1日現在

2. 地域別就職状況
学部

企業の所在地	学部		文学部 就職者数 就職者数	教育学部 就職者数 就職者数	法学部 就職者数 就職者数	経済学部 就職者数 就職者数	理学部 就職者数 就職者数	医学部		歯学部 就職者数	薬学部 薬科学科(4年制) 就職者数	薬学部 薬科学科(6年制) 就職者数	工学部 就職者数	農学部 就職者数	獣医学部 就職者数	水産学部 就職者数	合計 地域別就職者数	
	医学部 就職者数	保健学科 就職者数																
北海道	札幌市以外	32 (18) 24 (13)	13 (7) 1 (1)	42 (18) 9 (3)	43 (10) 3 (0)	4 (1) 1 (0)	75 (57) 14 (10)	12 (3) 1 (1)	20 (3) 6 (2)	6 (3) 7 (3)	3 (1) 1 (1)	3 (1) 2 (0)	2 (0) 2 (0)	13 (6) 4 (1)	263 (127) 73 (35)			
東北	青森県			1 (0)													1 (0)	
	岩手県			1 (0)														1 (0)
	宮城県			1 (1)														2 (2)
	秋田県																	0 (0)
関東	山形県																	1 (1)
	福島県	1 (1)		1 (0)														1 (1)
	茨城県	1 (0)		1 (0)														1 (1)
	栃木県																	1 (1)
	群馬県	1 (1)																1 (1)
	埼玉県	2 (0)																2 (2)
	千葉県	1 (1)																1 (1)
北陸	東京都	57 (29)	12 (7) 1 (0)	67 (23) 1 (1)	75 (21) 5 (1)	14 (5) 1 (0)	11 (10) 3 (0)	2 (2) 2 (1)	52 (15) 5 (0)	23 (12) 1 (0)	5 (3) 4 (2)	1 (1) 1 (0)	1 (0) 2 (1)	19 (7) 1 (0)	345 (139) 25 (6)			
	神奈川県	2 (1)		1 (0)														2 (0)
	新潟県	2 (1)		1 (0)														2 (0)
	富山県	1 (0)		1 (0)														1 (0)
	石川県	1 (0)		1 (0)														1 (0)
	福井県	1 (0)		1 (0)														1 (0)
	山梨県			1 (1)														1 (1)
中部	長野県			1 (0)														1 (0)
	岐阜県																	0 (0)
	静岡県	1 (1)	1 (0)	1 (1)		2 (1)		1 (1)		1 (1)								2 (1)
	愛知県	3 (1)	1 (0)	5 (1)	4 (1)	2 (1)		2 (0)		1 (0)								1 (0)
	三重県		1 (0)			1 (0)												1 (0)
	滋賀県																	0 (0)
	京都府	1 (0)		2 (2)	5 (0)	1 (0)												1 (0)
近畿	大阪府	3 (0)	3 (2)	8 (2)	5 (3)													2 (1)
	兵庫県	1 (1)																1 (0)
	奈良県																	0 (0)
	和歌山県																	0 (0)
	鳥取県		1 (0)															1 (0)
	島根県																	0 (0)
	岡山県		1 (0)	1 (1)														1 (0)
中国	広島県			1 (0)														1 (1)
	山口県																	1 (1)
	徳島県																	0 (0)
	香川県																	1 (0)
	愛媛県																	1 (0)
	高知県																	0 (0)
	福岡県	1 (0)		2 (0)														2 (2)
九州	佐賀県			1 (0)														1 (0)
	長崎県																	0 (0)
	熊本県	1 (0)		1 (0)														1 (0)
	大分県																	1 (0)
	宮崎県																	1 (0)
	鹿児島県																	0 (0)
	沖縄県																	1 (0)
海外																	1 (0)	
就職先詳細不明																		1 (0)
合計		135 (69)	38 (19)	158 (58)	157 (38)	31 (10)	124 (94)	26 (12)	100 (24)	54 (28)	30 (14)	51 (15)	908 (384)					

※()は女子で内数

修士課程

企業 の所在地	研究科・学院	文学研究科		法学研究科		経済学研究科 (経済学院含む)		医学研究科*		医学公衆衛生学 コース(特コース)		情報科学 研究科		水産科学 研究科		環境科学 研究科		理学院		農学院		生命科学 研究科		教育学院		国際教育 研究科		保健科学 研究科		工学院		総合化学 研究科		合計				
		就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数					
北海道	札幌市	10 (8)	2 (2)	5 (3)	6 (3)	1 (0)	13 (1)	7 (3)	15 (6)	13 (6)	4 (1)	15 (2)	12 (7)	3 (2)	6 (6)	13 (8)	15 (8)	8 (1)	11 (2)	8 (3)	140 (68)	2 (1)	2 (1)	5 (3)	2 (1)	2 (1)	15 (8)	9 (0)	2 (1)	2 (0)	2 (1)	50 (14)						
	札幌市以外	3 (1)	1 (1)					1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	5 (1)					
東北	青森県																																					
	岩手県																																					
関東	宮城県	2 (0)																																				
	宮城県																																					
中部	茨城県																																					
	埼玉県	1 (1)		1 (0)																																		
北陸	富山県	1 (0)																																				
	石川県																																					
近畿	京都府	1 (0)																																				
	大阪府	9 (6)	3 (2)	9 (6)	5 (3)		90 (12)	55 (12)	41 (14)	37 (5)	62 (23)	51 (23)	3 (2)	3 (3)	8 (2)	177 (22)	51 (11)	604 (146)	1 (1)	12 (7)	1 (1)	12 (7)	2 (1)	2 (1)	3 (3)	8 (2)	1 (0)	1 (0)	15 (1)	9 (1)	65 (16)	2 (1)	2 (1)	3 (2)	8 (2)			
中国	兵庫県																																					
	和歌山県																																					
四国	徳島県																																					
	香川県																																					
九州	福岡県																																					
	佐賀県																																					
沖縄県																																						
海外																																						
就職先詳細不明		1 (0)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	3 (1)	3 (1)	1 (1)	3 (1)	0 (0)	3 (1)	3 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)		
合計		29 (17)	10 (8)	24 (13)	19 (13)	1 (0)	134 (16)	97 (24)	97 (35)	79 (15)	138 (51)	89 (40)	12 (10)	27 (17)	30 (14)	299 (30)	117 (26)	1,202 (329)	1 (0)	19 (7)	1 (1)	19 (7)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	

※ () は女子で内数
 ◇平成29年4月1日付で経済学研究科、医学研究科は、経済学院、医学院に改組。

専門職大学院

企業 の所在地	研究科等	法科大学院 (法学研究科)		会計専門職大学院 (経済学研究科*)		公共政策大学院 (公共政策学教育部)		計
		就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	地域別就職者数	
北海道	札幌市			7	(1)	3	(0)	10
	札幌市以外			5	(2)			5
東北	青森県							0
	岩手県							0
	宮城県							0
	秋田県							0
	山形県							0
関東	福島県							0
	茨城県							0
	栃木県							0
	群馬県							0
	埼玉県							0
北陸	千葉県			6	(2)	3	(1)	9
	東京都	1	(1)	1	(0)	1	(0)	3
	神奈川県							0
	新潟県							0
	富山県							0
中部	石川県							0
	福井県							0
	山梨県							0
	長野県							0
	岐阜県							0
近畿	静岡県							0
	愛知県							0
	三重県							0
	滋賀県							0
	京都府			1	(0)			1
中国	兵庫県							0
	奈良県							0
	和歌山県							0
	鳥取県							0
	島根県							0
四国	岡山県			1	(0)			1
	山口県							0
	徳島県							0
	香川県							0
	愛媛県							0
九州	高知県							0
	福岡県							0
	佐賀県							0
	長崎県							0
	熊本県							0
沖縄県	大分県							0
	宮崎県							0
	鹿児島県							0
	沖縄県							0
	海外							0
就職先詳細不明			21	(5)	7	(1)	29	
合計		1	(1)	21	(5)	7	(1)	29

※()は女子で内数

◇平成29年4月1日付で経済学研究科は経済学院に改組。

博士課程

企業の所在地	研究科・学院		文学研究科	法学研究科	経済学研究科	医学研究科*	医学研究科	医学研究科*	歯学研究科*	歯学研究科	情報科学研究科	水産科学研究科	環境科学研究科	理学院	農学院	生命科学院*	教育学院	国際大学院 ・龍谷学院	保健科学院	工学院*	総合化学院	合計	
	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	地域別就職者数
北海道	4 (3)	1 (1)	5 (2)	1 (1)	1 (1)	44 (12)	25 (2)	11 (2)	2 (0)	7 (3)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	4 (2)	2 (1)	8 (1)	2 (0)	2 (1)	3 (0)	2 (0)	4 (1)	105 (30)	
東北						2 (1)				1 (0)	1 (0)					1 (0)				1 (0)		0 (0)	
関東	1 (0)							1 (1)		1 (1)			2 (2)	1 (0)	1 (0)					7 (1)	1 (0)	16 (7)	
北陸						1 (0)				1 (0)			1 (1)	1 (0)						1 (0)		6 (1)	
中部										1 (0)												5 (0)	
近畿	1 (1)					1 (0)		1 (1)		1 (0)				1 (0)						1 (1)		48 (9)	
中国																						0 (0)	
四国																						0 (0)	
九州																	1 (0)					0 (0)	
沖縄県																						0 (0)	
海外																						0 (0)	
就職先詳細不明	3 (1)					3 (1)	3 (0)	7 (4)				4 (1)	3 (1)	1 (0)	5 (2)	4 (1)					3 (1)	39 (13)	
合計	14 (7)	6 (2)	1 (1)	78 (17)	16 (2)	23 (12)	21 (1)	13 (2)	20 (9)	21 (4)	14 (5)	28 (5)	7 (1)	34 (8)	330 (83)								

※()は女子で内数

◇平成29年4月1日付で経済学研究科、医学研究科、歯学研究科、獣医学研究科は、経済学院、医学院、歯学院、獣医学院に改組。

◇生命科学院は、後期課程(生命科学専攻)と、一貫制課程(臨床薬学専攻)がある。

◇工学院には、工学研究科修了者を含む。

(学務部キャリア支援課)

編集メモ

●7月24日(火)、本学札幌キャンパス構内に新感覚コンビニエンスストア「セイコーマート北海道大学店」が開店します。札幌キャンパスのほぼ中心に立地することもあり、多くの学生・教職員にご利用いただけることを期待しています。また、開店の際には記念品配付などのイベントも開催予定ですので、皆様楽しみにお待ちください。

●北海道大学の夏の風物詩と言えば、毎年恒例の「緑のビアガーデン」です

が、今年は新たに「セイコーマート北海道大学店」を会場として、「緑のジンギスカン&ワイン&ビア」を実施することになりました。どちらも本学の自然豊かなキャンパスの中で、最高のひと時を味わっていただけるイベントになることを願うとともに、皆様の夏のイベントの1つとしてご予定に加えただいただければ嬉しい限りです。多くの皆様のお越しをお待ちしています。



2016.6.11 北海道新幹線 新函館北斗～木古内（北斗市）

北の鉄道風景 63 北海道新幹線

北海道新幹線の新青森～新函館北斗が開業して2年が経過し、その開業効果が一巡した結果、近頃は乗車率が減少傾向にあるようだ。実際のところ、新函館北斗までの暫定開業という状況では使い勝手が悪く、乗車率が低いことは当然の帰結であろう。札幌まで延伸開業することで初めて北海道新幹線はその真価を発揮し、乗車率も改善されるのではないかと思う。札幌への延伸区間211kmのうち約160kmがトンネルであって、その工事が現在、優先的に進め

られている。延伸区間にある全トンネルの工事が今年度中に発注されることに加えて、札幌駅のホーム位置も確定したことで、札幌への新幹線延伸が現実のこととして実感できるようになってきた。写真は新函館北斗を発ち、東京へ向かうH5系の「はやぶさ」である。このような光景が札幌でも見られるようになるのが待ち遠しい限りだ。

情報科学研究科 准教授 山本 学

北大時報 ⑥ No.771 平成30年6月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL：(011) 706-2610 / FAX：(011) 706-2092 / E-mail：kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。https://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html